

令和7年度入学生対象

別記様式1

主専攻プログラム詳述書

開設学部（学科）名〔文学部人文学科〕

プログラムの名称（和文）	哲学・思想文化学プログラム
（英文）	Philosophy and Thought
1. 取得できる学位 学士（文学）	
2. 概要	
<p>哲学・思想文化学プログラムでは、欧米・インド・中国・日本等の各地域の社会・歴史の中で受け継がれてきた人類の英知に基づいて、現代を思索する人間を育成するための教育を実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋哲学分野では、存在・論理・認識・主観と客観など、古代から現代に至る哲学の主要問題を体系的かつ文献学的に研究することを通じて、哲学研究に必要な基礎的方法を習得し、現代の諸問題を含めて、物事を深くかつ多面的に考察する能力を養う教育を実施します。 ・インド哲学・仏教学分野では、サンスクリット語を習得した上で、説話・詩・戯曲などの文学作品、ヒンドゥー教・仏教などの宗教・哲学書、土着の文法書など豊かなインドの古典を通して、多様なインド世界を理解し、さらに、ブッダに始まる仏教思想がスリランカ、東南アジア、チベットにおいてどのように変化し、発展していったかを理解できる教育を実施します。 ・倫理学分野では、日本並びに欧米の倫理学や倫理思想史の研究を通じて世界観、人生観、価値観などを深めながら、生命・環境・情報・教育・研究・ロボット・宇宙・企業・ジェンダー・平和等に関する応用倫理学の研究に取り組むための教育を実施します。 ・中国思想文化学分野では、文献資料を丹念に読解することを中心に、諸子百家の論や儒教、道教、朱子学、陽明学、日本漢学など、三千年以上にわたるその長い歴史に培われてきた思想文化の内容と特色について深く研究し、現代社会に対するその文化の意義について考えるための教育を実施します。 	
3. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・プログラムの到達目標）	
<p>文学部は、「主として人文科学の分野における幅広い基礎学力と専門知識を有し、鋭い感性と客観的視点に基づいて現代社会を的確に見据え、その発展に貢献できる人間性豊かな個性的人材を養成すること」を教育の根本理念として掲げています。そして、この理念を具体化するために、「伝統的研究の成果と方法論を継承し、専門領域における基礎的研究を深化すること、新たな研究領域や学際的領域に常に注目し、幅広い研究を積極的に推進すること、現代社会に対する鋭い問題意識を常に持って、研究を活性化すること、外国語の運用能力を高めるとともに、専門領域の必要に即した情報処理能力を身につけること、絶え間ない自己改革を行う謙虚さ・柔軟性を養うこと、人類の歴史を学び、国際平和の精神を重視する姿勢を培うこと」という教育目標を定めています。</p> <p>本プログラムでは、文学部の掲げる教育理念と教育目標に基づき、以下の到達目標を掲げています。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 哲学・思想文化学に対する幅広い基礎学力と専門知識を修得する。 (2) 各専門分野（西洋哲学、インド哲学・仏教学、倫理学、中国思想文化学）に関する伝統的研究の成果と方法論を修得する。 (3) 各専門分野における基礎的研究を深化させるとともに、その今日的意義と課題の発見を通じて、新たな 	

研究領域や学際領域を積極的に開拓する素養を身につける。

この目標に到達するために編成された本プログラムの教育課程を終えて、学士（文学）を授与されるためには、学生には以下のことが求められます。

- (1) 学生は、所定の期間在学し、プログラムが設定した授業科目を履修して、所定の単位数を修得しなければならない。
- (2) 学生は、原典・資史料の収集、分析、批判的考察を通じて、人間文化に対する深い洞察力を培い、自ら卒業論文を作成して、提出しなければならない。

4. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

本プログラムは、文学部の掲げる教育理念・教育目標及びプログラムの掲げる到達目標を実現するために、次の教育課程（カリキュラム）を編成・実施しています。

- (1) 学生は、専門研究の基礎となる幅広い教養、外国語の運用能力、情報処理能力、平和を筆頭とする人類の課題を学際的にとらえる広い視野を修得するために、所定の教養教育科目を履修する。
- (2) 学生は、2年次に教育プログラム・専門分野に配属され、哲学・思想文化の歴史及び各専門分野に関する基礎的知識と理解を修得するために、専門科目としての専門概説、専門演習を履修する。
- (3) 学生は、3年次に原典読解力、資料調査能力、研究方法、論理的分析力、加えて各言語の理解力・表現力、及び日本語表現力、論文作成能力・プレゼンテーション能力を修得するために、少人数による参加型の専門演習科目（基礎演習・発展演習など）を履修する。
- (4) 学生は、4年次に教員の指導の下に、独創的・複眼的な考察力と表現力を磨いて、自ら卒業論文のテーマを設定し、学士課程における勉学の集大成として卒業論文を作成する。

5. プログラムの開始時期・受入条件

開始時期：2年次から

受入条件：第1年次末に志望理由書及び学業成績により審査決定します。

ただし、光り輝き入試総合型選抜Ⅱ型により入学した学生は、受験したプログラムへ配属されます。

6. 取得可能な資格

- ・中学校教員一種免許状（国語，社会，英語，ドイツ語，フランス語）
- ・高等学校教員一種免許状（国語，地理歴史，公民，英語，ドイツ語，フランス語）
- ・学芸員となる資格

7. 授業科目及び授業内容

※ 授業科目は、別紙1の履修表を参照。

※ 授業内容は、各年度に公開されるシラバスを参照。

8. 学習の成果

各学期末に、学習の成果の評価項目ごとに、評価基準を示し、達成水準を明示します。

各評価項目に対応した科目の成績評価をS=4, A=3, B=2, C=1と数値に変換した上で、加重値を加味し算出した評価基準値に基づき、入学してからその学期までの学習の成果を「極めて優秀(Excellent)」, 「優秀(Very Good)」, 「良好(Good)」の3段階で示します。

成績評価	数値変換
S (秀 : 90点以上)	4
A (優 : 80~89点)	3
B (良 : 70~79点)	2
C (可 : 60~69点)	1

学習の成果	評価基準値
極めて優秀(Excellent)	3.00~4.00
優秀(Very Good)	2.00~2.99
良好(Good)	1.00~1.99

本プログラムにおける学習成果の評価法の詳細については、

※ 別紙2の評価項目と評価基準との関係を参照。

※ 別紙3の評価項目と授業科目との関係を参照。

※ 別紙4のカリキュラムマップを参照。

9. 卒業論文（卒業研究）（位置づけ、配属時期と方法）

○ 位置付け

卒業論文は、本プログラムの到達点と位置付け、卒業論文指導4単位、卒業論文8単位を必修とします。本プログラムでの学習成果を集大成し、自己の学習の到達水準を見極め、卒業後の更なる発展を促すことを目的とします。

○ 配属時期と作成方法

4年次前期に、各自が設定した研究テーマに基づいて卒業論文指導教員を定め、当該教員の指導を受けて10月末に題目を、1月末に論文を提出します。

10. 責任体制

PDC A責任体制（計画(plan)・実施(do)・評価 (check)・改善 (action)）

本プログラムの計画・実施・評価検討・対処は、哲学・思想文化学プログラム教員会が責任を持って行います。プログラム外からの評価検討・対処は、全学の教育質保証委員会が行います。

別表（細則第4条第3項関係）

文学部教育課程

卒業要件単位数 124単位（教養教育科目40単位，専門教育科目84単位）

教養教育科目

区分	科目区分		要修得単位数	授業科目	単位数	履修指定	標準履修 (注1)					
							1年次					
							1セメ	2セメ	1T	2T	3T	4T
教養教育	平和科目		2		2	選択必修		○				
	大学教育基礎科目	大学教育入門	2	大学教育入門	2	必修	○					
		教養ゼミ	2	教養ゼミ	2	必修	○					
		展開ゼミ	(0)	(注3)	1	自由選択		○	○	○	○	
	外国語科目 (注4)	領域科目		20	(注2) (注5) (注8)	2	選択必修	○	○	○	○	
		英語	コミュニケーション I	4	コミュニケーション I A	1	選択必修	○	○			
					コミュニケーション I B	1		○	○			
			コミュニケーション II		コミュニケーション II A	1				○	○	
					コミュニケーション II B	1				○	○	
		上記4科目のうちから2科目以上										
		初修外国語	ドイツ語，フランス語，スペイン語，ロシア語，中国語，韓国語，アラビア語のうちから1言語選択	4	ベーシック外国語 I	1	必修	○	○	○	○	
					ベーシック外国語 II	1		○	○	○	○	
					ベーシック外国語 III	1		○	○	○	○	
					ベーシック外国語 IV	1		○	○	○	○	
		英語または初修外国語 (注6)		2	コミュニケーション基礎 I	1	選択必修	○	○			
					コミュニケーション基礎 II	1				○	○	
インテンシブ外国語 I					1	選択必修	○	○				
インテンシブ外国語 II	1							○	○			
情報・データサイエンス科目		4	情報・データ科学入門 (注7) (注8)	2	必修		○					
			(注7)	2	選択必修			○	○			
健康スポーツ科目		(0)	(注3) (注8)	1又は2	自由選択	○	○	○	○			
社会連携科目		(0)	(注3) (注5)	1又は2	自由選択	○	○	○	○			
基盤科目		(0)	(注3)	1～3	自由選択	○	○	○	○			
計			40									

注1 : ○印は標準履修時期を表している。なお，当該ターム（またはセメスター）で単位を修得できなかった場合は，これ以降に履修することも可能である。授業科目により実際に開講するターム（またはセメスター）が異なる場合があるので，毎年度発行する教養教育科目授業時間割等で確認すること。なお，表中ではタームは「T」と表記する。

注2 : 自然科学系科目群から2科目4単位以上及び人文社会科学系科目群から2科目4単位以上を選択履修すること。

注3 : 展開ゼミ，健康スポーツ科目，社会連携科目または基盤科目を履修した場合は，領域科目を履修したものとみなす。

注4 : 英語・初修外国語の履修については，外国語技能検定試験による単位認定制度もある。詳細は，教養「外国語科目」に関する項及び「外国語技能検定試験等による単位認定の取扱いについて」を参照すること。

注5 : 要修得単位数を超えて修得した領域科目及び社会連携科目のうち，使用言語が「英語」の授業科目の単位は，英語の単位とすることができる。

注6 : コミュニケーション基礎 I，II またはインテンシブ外国語 I，II のどちらか2単位を修得すること。英語以外の外国語をさらに深く学びたい学生は，インテンシブ外国語 I，II を履修するのが望ましい。超過分の単位は，2単位まで領域科目の単位とすることができる。

注7 : 情報・データサイエンス科目の履修については，2ターム開講の「情報・データ科学入門」を必ず修得し，「コンピュータ・プログラミング，知能とコンピュータ，データサイエンス基礎，ゼロからはじめるプログラミング，教育のためのデータサイエンス」の中から2単位を修得すること。超過分の単位は，2単位まで領域科目の単位とすることができる。

注8 : 教育職員免許状を取得する場合は，領域科目「日本国憲法」2単位，情報データ・サイエンス科目「情報・データ科学入門」2単位及び健康スポーツ科目2単位を修得すること。詳細は，専門「教育職員免許状の取得について」を参照すること。

専門教育科目

哲学・思想文化学プログラム

区分	授業科目	開設期	単位	履修区分	備 考
専門基礎科目 30 単位	入門科目	1・2	6	選択必修	超過分の単位は、2単位まで自由選択科目の単位とすることができる。
	英語A, B	1-4	4	選択必修	文学部提供教育プログラム 共通科目群のもの。
	人文学概説				
	ギリシャ語A・B				
	ラテン語A・B				
	倫理学基礎演習（ドイツ語）				各人の志望する分野に合わせて選択履修することが望ましい。
	サンスクリット語入門				
	漢文基礎				
	自由選択科目				1-8
専門科目 42 単位	専門講義 [西洋哲学分野] [インド哲学・仏教学分野] [倫理学分野] [中国思想文化学分野] の概説・研究法	3-6	42	選択必修	各人の志望する分野の専門科目を中心に履修すること。
	専門演習 [西洋哲学分野] [インド哲学・仏教学分野] [倫理学分野] [中国思想文化学分野] の基礎演習，発展演習，特別演習の科目	3-8			
卒業論文 12 単位	卒業論文指導A, B	7・8	4	必修	
	卒業論文	8	8	必修	
合計			84		

専門教育科目一覧

哲学・思想文化学プログラム

分野	区分		科目コード	授業科目	学期単位	開設単位	配当年次	授業形態	免許教科 ○包括的科目	
西洋哲学	専門基礎科目		入門科目	BA0011 哲学・思想文化学入門	2	2	1	講義	社会・公民	
			基礎科目	BA0031 倫理学基礎演習(ドイツ語)	2	2	2	演習		
	専門科目	専門講義	概説・研究法	BA2020 西洋近世哲学史	2	2	2	講義	社会・公民	
				BA2030 哲学概論I	2	2	2	講義	○社会・公民	
				BA2040 哲学概論II	2	2	2	講義	○社会・公民	
				BA2071 西洋哲学研究A	2	2	2	講義	社会・公民	
				BA2081 西洋哲学研究B	2	2	3	講義	社会・公民	
				BA2090 論理学	2	2	2	講義	社会・公民	
				AHH040 現代思想*	2	2	2	講義		
		専門演習	基礎演習	BA4020 近世哲学基礎演習	2	2	2	演習	社会・公民	
				発展演習	BA5080 西洋近現代哲学演習A	2	2	2	演習	社会・公民
					BA5090 西洋近現代哲学演習B	2	2	3	演習	社会・公民
			AHH250 比較哲学演習*		2	2	2	演習		
			特別演習	BA6080 哲学及び哲学史特別演習A	2	2	3	演習		
				BA6090 哲学及び哲学史特別演習B	2	2	3	演習		
				BA6100 哲学及び哲学史特別演習C	2	2	4	演習		
BA6110 哲学及び哲学史特別演習D	2			2	4	演習				
インド哲学・仏教学	専門基礎科目		入門科目	BA0011 哲学・思想文化学入門	2	2	1	講義	社会・公民	
			基礎科目	BB0020 サンスクリット語入門	2	2	2	演習	社会・公民	
	専門科目	専門講義	概説・研究法	BB2000 インド哲学概説	2	2	2	講義	社会・公民	
				BB2010 仏教学概説	2	2	2	講義	○社会・公民	
		基礎演習	BB4010 インド哲学・仏教学基礎演習A	2	2	2	演習	社会・公民		
			BB4020 インド哲学・仏教学基礎演習B	2	2	2	演習	社会・公民		
			BB4030 チベット語入門	2	2	3	演習	社会・公民		
			発展演習	BB5000 インド哲学・仏教学演習A	2	2	3	演習	社会・公民	
				BB5010 インド哲学・仏教学演習B	2	2	3	演習	社会・公民	
				BB5020 インド哲学・仏教学演習C	2	2	4	演習	社会・公民	
				BB5030 インド哲学・仏教学演習D	2	2	4	演習	社会・公民	
				BB5060 仏教思想基礎文献演習A	2	2	3	演習	社会・公民	
				BB5070 仏教思想基礎文献演習B	2	2	3	演習	社会・公民	
				BB5080 インド思想文献演習A	2	2	3	演習	社会・公民	
				BB5090 インド思想文献演習B	2	2	3	演習	社会・公民	
				BB5100 インド思想文献演習C	2	2	4	演習	社会・公民	
				BB5110 インド思想文献演習D	2	2	4	演習	社会・公民	
				BB5120 仏教思想文献演習A	2	2	3	演習	社会・公民	
				BB5130 仏教思想文献演習B	2	2	3	演習	社会・公民	
			BB5140 仏教思想文献演習C	2	2	4	演習	社会・公民		
			BB5150 仏教思想文献演習D	2	2	4	演習	社会・公民		
			BB5160 日本仏教文献演習A	2	2	3	演習	社会・公民		
		BB5170 日本仏教文献演習B	2	2	3	演習	社会・公民			
		BB5180 日本仏教文献演習C	2	2	4	演習	社会・公民			
		BB5190 日本仏教文献演習D	2	2	4	演習	社会・公民			
		特別演習	BB6000 インド哲学・仏教学特別演習A	2	2	3	演習			
			BB6010 インド哲学・仏教学特別演習B	2	2	3	演習			
			BB6020 インド哲学・仏教学特別演習C	2	2	4	演習			
			BB6030 インド哲学・仏教学特別演習D	2	2	4	演習			

専門教育科目一覧

哲学・思想文化学プログラム

分野	区分		科目コード	授業科目	学期単位	開設単位	配当年次	授業形態	免許教科 ○包括的科目
倫理学	専門基礎科目		入門科目	BA0011 哲学・思想文化学入門	2	2	1	講義	社会・公民
	専門講義	概説・研究法	BC2000 生命倫理	2	2	2	講義	社会・公民	
			BC2012 日本倫理思想講義	2	2	2	講義	○社会・公民	
			BC2022 英米倫理学講義	2	2	2	講義	社会・公民	
			BC2032 ドイツ倫理学講義	2	2	2	講義	○社会・公民	
			BC2041 倫理学特講	2	2	2	講義	社会・公民	
	専門科目	基礎演習	BC4020 倫理思想史基礎演習A	2	2	2	演習	社会・公民	
			BC4030 倫理思想史基礎演習B	2	2	2	演習	社会・公民	
			BC4040 倫理思想史基礎演習C	2	2	3	演習	社会・公民	
			BC4050 倫理思想史基礎演習D	2	2	3	演習	社会・公民	
		発展演習	BC5040 応用倫理学演習A	2	2	2	演習	社会・公民	
			BC5050 応用倫理学演習B	2	2	2	演習	社会・公民	
			BC5060 応用倫理学演習C	2	2	3	演習	社会・公民	
			BC5070 応用倫理学演習D	2	2	3	演習	社会・公民	
		特別演習	BC6000 倫理学特別演習A	2	2	3	演習		
			BC6010 倫理学特別演習B	2	2	3	演習		
BC6020 倫理学特別演習C			2	2	4	演習			
		BC6030 倫理学特別演習D	2	2	4	演習			
中国思想文化学	専門基礎科目		入門科目	BA0011 哲学・思想文化学入門	2	2	1	講義	社会・公民
			基礎科目	BD0020 漢文基礎	2	2	2	演習	○国語
	専門講義	概説・研究法	BD2000 中国思想史概説	2	2	2	講義	社会・公民	
			BD2030 中国学術思想史	2	2	3	講義	社会・公民	
		基礎演習	BD4010 諸子学文献A	2	2	2	演習	国語	
			BD4020 諸子学文献B	2	2	2	演習	国語	
			発展演習	BD5120 中国哲学思想文献演習A	2	2	2	演習	社会・公民
	BD5130 中国哲学思想文献演習B	2		2	3	演習	社会・公民		
	BD5140 中国哲学思想文献演習C	2		2	3	演習	社会・公民		
	BD5150 中国哲学思想文献演習D	2		2	4	演習	社会・公民		
	BD5160 中国思想文化文献演習A	2		2	3	演習	国語		
	BD5170 中国思想文化文献演習B	2		2	3	演習	国語		
	BD5180 中国思想文化文献演習C	2		2	4	演習	国語		
	BD5190 中国思想文化文献演習D	2		2	4	演習	国語		
	特別演習	BD6000 中国思想文化学特別演習A	2	2	3	演習			
		BD6010 中国思想文化学特別演習B	2	2	3	演習			
BD6020 中国思想文化学特別演習C		2	2	4	演習				
BD6030 中国思想文化学特別演習D		2	2	4	演習				
共通	卒業論文科目		BX1100 卒業論文指導A	2	2	4	演習		
			BX1200 卒業論文指導B	2	2	4	演習		
			BX1500 卒業論文	8	8	4	演習		

*は総合科学部開設科目

哲学・思想文化学プログラムにおける学習の成果

評価項目と評価基準との関係

学習の成果		評価基準		
評価項目		極めて優秀(Excellent)	優秀(Very Good)	良好(Good)
知識・理解	(1) 哲学・思想文化学に関する基本的理解(含教養教育)	哲学と思想の歴史に関する知識を習得しており、自己の研究分野において活用することができる。	哲学と思想の歴史に関する基本的事項は習得しており、より発展的に理解することができる。	哲学と思想の歴史に関する基本的事項について理解することができる。
	(2) 哲学・思想文化学の各分野に関する基礎的知識の習得	当該の専門分野に関する基礎的知識を習得しており、研究においてそれらを有効に発揮することができる。	当該の専門分野に関する基礎的知識を理解し、それらの知識を組み合わせることで発展的に考えることができる。	当該の専門分野に関する基礎的知識を理解することができる。
	(3) 哲学・思想文化学に関する原典の読解のための基礎的言語能力の習得	語句の意味、用法及び文の構造、表現上の特色を理解し、対象文献の内容を構成や展開に即して的確にとらえることができる。	語句の意味、用法及び文の構造を理解し、対象文献の内容を構成や展開に即してとらえることができる。	語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる。
能力・技能	(1) 哲学・思想文化学に関する資料調査能力の習得	辞書や索引などの資料調査の用具を活用し、必要に応じて原典を調査することができる。	辞書や索引などの資料調査の基本的用具を活用し、必要に応じて原典を調査することができる。	辞書や索引などの資料調査の基本的用具を活用することができる。
	(2) 哲学・思想文化学に関する研究方法の習得	従来研究方法を十分に習得しており、自己の研究に応用し、独自の研究を展開することができる。	従来研究方法を習得しており、自己の研究に応用することができる。	従来研究方法を理解することができる。
	(3) 哲学・思想文化学の各分野に関する諸問題を論理的に分析し考察する能力の習得	当該の専門分野の諸問題を論理的に分析し考察する能力を十分に習得しており、自己の研究に活用することができる。	当該の専門分野の諸問題を論理的に分析し考察する能力を習得しており、自己の研究に活用することができる。	当該の専門分野の諸問題を論理的に分析し考察することができる。
総合的な力	(1) 哲学・思想文化学の各分野に関する各言語の理解と表現力及び日本語表現力の習得	当該の専門分野に関する各言語の理解と表現力及び日本語表現力が豊かであり、自己の見解を説得力ある文章によって表現することができる。	当該の専門分野に関する各言語の理解と表現力及び日本語表現力を身につけており、自己の見解を表現することができる。	当該の専門分野に関する各言語の理解と表現力及び日本語表現力を発揮することができる。
	(2) 論理的思考力を身につけ、従来の研究成果を踏まえた上での自分の意見を発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力の習得	すぐれた論理的思考力・論文作成能力・プレゼンテーション能力を習得し、自分の意見を論理的に展開することができる。	論理的思考力・論文作成能力・プレゼンテーション能力を習得し、自分の意見を論理的に展開することができる。	論理的思考力を身につけており、自分の意見を発表することができる。
	(3) 哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を複眼的に考察する力を習得し、自ら課題を設定し、問題を解決する能力の習得	所定の教育課程を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を習得しており、すぐれた卒業論文を作成することができる。	所定の教育課程を通して、自ら課題を設定し、問題を解決する能力を身につけており、一定の水準に達する卒業論文を作成することができる。	所定の教育課程を通して、自ら課題を設定し、問題を解決することができる。

主専攻プログラムにおける教養教育の位置づけ

本プログラムにおける教養教育は、原典読解に必要な各外国語、古典語能力をはじめ、専門領域における研究を行うために必要な基礎学力を身につけるとともに、さまざまな分野の研究の方法・成果・課題を学習して、専門研究に活用できる独創的な視点を養成します。

哲学・思想文化学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果 評価項目	1年		2年		3年		4年		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
(1) 哲学・思想文化学に関する基本的理解(含教養教育)	教養ゼミ (◎)								
	展開ゼミ (△)								
	大学教育入門 (◎)								
	平和科目 (○)								
	領域科目								(○)
	情報・データ科学入門 (◎)	情報・データサイエンス科目 (○)							
		哲学・思想文化学入門 (○)	西洋近世哲学史 (○)	哲学概論Ⅱ (○)	西洋哲学研究 B (○)	中国学術思想史 (○)			
			哲学概論Ⅰ (○)	仏教学概説 (○)					
			西洋哲学研究 A (○)	生命倫理 (○)					
			論理学 (○)	英米倫理学講義 (○)					
			現代思想 (○)	諸子学文献B (○)					
			インド哲学概説 (○)						
			日本倫理想講義 (○)						
(2) 哲学・思想文化学の各分野に関する基礎的知識の習得		哲学・思想文化学入門 (○)	西洋近世哲学史 (○)	哲学概論Ⅱ (○)	西洋哲学研究 B (○)	中国学術思想史 (○)			
			哲学概論Ⅰ (○)	仏教学概説 (○)					
			西洋哲学研究 A (○)	生命倫理 (○)					
			論理学 (○)	英米倫理学講義 (○)					
			現代思想 (○)						
			インド哲学概説 (○)						
			日本倫理想講義 (○)						
			ドイツ倫理学講義 (○)						
		倫理学特講 (○)							
		中国思想史概説 (○)							

知識・理解

哲学・思想文化学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果 評価項目	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(3) 哲学・思想文化学に関する原典の読解力のための基礎的言語能力の習得	コミュニケーションⅠ (○)	コミュニケーションⅡ (○)	倫理学基礎演習(ドイツ語) (○)	サンスクリット語入門 (○)				
	ベーシック外国語 (◎)		漢文基礎 (○)	諸子学文献B (○)				
	コミュニケーション基礎Ⅰ (○)	コミュニケーション基礎Ⅱ (○)	諸子学文献A (○)					
	インテンシブ外国語 (○)							
(1) 哲学・思想文化学に関する資料調査能力の習得			倫理学基礎演習(ドイツ語) (○)	サンスクリット語入門 (○)	西洋近現代哲学演習B (○)	インド哲学・仏教学演習B (○)	インド哲学・仏教学演習C (○)	インド哲学・仏教学演習D (○)
			漢文基礎 (○)	西洋近現代哲学演習A (○)	チベット語入門 (○)	仏教思想基礎文献演習B (○)	インド思想文献演習C (○)	インド思想文献演習D (○)
			近世哲学基礎演習 (○)	比較哲学演習 (○)	インド哲学・仏教学演習A (○)	インド思想文献演習B (○)	仏教思想文献演習C (○)	仏教思想文献演習D (○)
			インド哲学・仏教学基礎演習A (○)	インド哲学・仏教学基礎演習B (○)	仏教思想基礎文献演習A (○)	仏教思想文献演習B (○)	日本仏教文献演習C (○)	日本仏教文献演習D (○)
			応用倫理学演習A (○)	倫理思想史基礎演習A (○)	インド思想文献演習A (○)	日本仏教文献演習B (○)	中国哲学思想文献演習D (○)	中国思想文化文献演習D (○)
				倫理思想史基礎演習B (○)	仏教思想文献演習A (○)	倫理思想史基礎演習C (○)	中国思想文化文献演習C (○)	
				応用倫理学演習B (○)	日本仏教文献演習A (○)	倫理思想史基礎演習D (○)		
				中国哲学思想文献演習A (○)	応用倫理学演習C (○)	応用倫理学演習D (○)		
能力・技能 (2) 哲学・思想文化学に関する研究方法の習得			近世哲学基礎演習 (○)	西洋近現代哲学演習A (○)	西洋近現代哲学演習B (○)	哲学及び哲学史特別演習B (○)	哲学及び哲学史特別演習C (○)	哲学及び哲学史特別演習D (○)
			インド哲学・仏教学基礎演習A (○)	比較哲学演習 (○)	哲学及び哲学史特別演習A (○)	インド哲学・仏教学演習B (○)	インド哲学・仏教学演習C (○)	インド哲学・仏教学演習D (○)
			応用倫理学演習A (○)	インド哲学・仏教学基礎演習B (○)	チベット語入門 (○)	仏教思想基礎文献演習B (○)	インド思想文献演習C (○)	インド思想文献演習D (○)
				倫理思想史基礎演習A (○)	インド哲学・仏教学演習A (○)	インド思想文献演習B (○)	仏教思想文献演習C (○)	仏教思想文献演習D (○)
				倫理思想史基礎演習B (○)	仏教思想基礎文献演習A (○)	仏教思想文献演習B (○)	日本仏教文献演習C (○)	日本仏教文献演習D (○)
				応用倫理学演習B (○)	インド思想文献演習A (○)	日本仏教文献演習B (○)	インド哲学・仏教学特別演習C (○)	インド哲学・仏教学特別演習D (○)
				中国哲学思想文献演習A (○)	仏教思想文献演習A (○)	インド哲学・仏教学特別演習B (○)	倫理学特別演習C (○)	倫理学特別演習D (○)
					日本仏教文献演習A (○)	倫理思想史基礎演習C (○)	中国哲学思想文献演習D (○)	中国思想文化文献演習D (○)
					インド哲学・仏教学特別演習A (○)	倫理思想史基礎演習D (○)	中国思想文化文献演習C (○)	中国思想文化学特別演習D (○)
					応用倫理学演習C (○)	応用倫理学演習D (○)	中国思想文化学特別演習C (○)	
					倫理学特別演習A (○)	倫理学特別演習B (○)		
					中国哲学思想文献演習B (○)	中国哲学思想文献演習C (○)		
					中国思想文化文献演習A (○)	中国思想文化文献演習B (○)		
					中国思想文化学特別演習A (○)	中国思想文化学特別演習B (○)		

哲学・思想文化学プログラムカリキュラムマップ

学習の成果 評価項目	1年		2年		3年		4年	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
(3) 哲学・思想文化学の各分野に関する諸問題を論理的に分析し考察する能力の習得					哲学及び哲学史特別演習A (○)	哲学及び哲学史特別演習B (○)	哲学及び哲学史特別演習C (○)	哲学及び哲学史特別演習D (○)
					インド哲学・仏教学特別演習A (○)	インド哲学・仏教学特別演習B (○)	インド哲学・仏教学特別演習C (○)	インド哲学・仏教学特別演習D (○)
					倫理学特別演習A (○)	倫理学特別演習B (○)	倫理学特別演習C (○)	倫理学特別演習D (○)
					中国思想文化学特別演習A (○)	中国思想文化学特別演習B (○)	中国思想文化学特別演習C (○)	中国思想文化学特別演習D (○)
総合的な力 (1) 哲学・思想文化学の各分野に関する各言語の理解と表現力および日本語表現力の習得 (2) 論理的思考力を身につけ、従来の研究成果を踏まえた上での自分の意見を発表できる論文作成能力・プレゼンテーション能力の習得 (3) 哲学・思想文化の特質、人間存在の諸問題を複眼的に考察する力を修得し、自ら課題を設定し、問題を解決する力の修得							卒業論文指導A (◎)	卒業論文指導B (◎)
							卒業論文指導A (◎)	卒業論文指導B (◎)
								卒業論文 (◎)
								卒業論文 (◎)

(例) 教養科目 専門基礎 専門科目 卒業論文 (◎)必修科目 (○)選択必修科目 (△)選択科目

哲学・思想文化学プログラム担当教員リスト

教員名	職名	内線	研究室	メールアドレス
衛藤吉則	教授	6637	A653	yeto@hiroshima-u.ac.jp
川村悠人	教授	6631	A662	yuto0619@hiroshima-u.ac.jp
後藤弘志	教授	6621	A665	goto1201@hiroshima-u.ac.jp
末永高康	教授	6626	A658	moyong@hiroshima-u.ac.jp
根本裕史	教授	6630	A661	nemoto@hiroshima-u.ac.jp
後藤雄太	准教授	6636	A651	yugoto10@hiroshima-u.ac.jp
裕智樹	准教授	6629	A666	tomoki09@hiroshima-u.ac.jp
岡本慎平	助教	6634	A652	sokmt@hiroshima-u.ac.jp

※電話082-424-内線番号